

令和5年（2023年）6月16日

令和5年度金沢市議会6月定例会月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、令和5年度金沢市議会6月定例会月議会が開かれるにあたり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明いたします。

【市政の概況】

それに先立ち、ただいま本議場において、議員在職10年の表彰の栄に浴されました坂本泰広議員に対しまして、心からお祝いを申し上げますとともに、今後ともご健勝にて金沢市政の発展のため、ご活躍を賜りますようお願い申し上げます。

さて、5月の月例経済報告において、3年3か月ぶりに景気の回復判断が示されるなど、コロナ禍後の日本経済に明るい兆しが見え始めています。新型コロナウイルス感染症の5類移行から1か月が経過し、まちなかにも賑わいが徐々に戻りつつあり、金沢百万石まつりにつきましても、コロナ禍前と同様の制限のない開催とさせていただきました。社会経済活動の正常化に向けた動きを一層確実なものとし、持続的な成長軌道に乗せていくためにも、市として様々な分野で反転攻勢をかけながら、市民生活の安定と地域経済の活性化に全力を尽くしていきます。

そのため、当初予算や4月の専決処分に引き続き、効果的な物価高騰対策を講じることとしており、まずは生活者への支援として、低所得世帯等を対象とする国の給付金に加え、3人以上の子どもや障害のある子どもを育てる世帯を対象に、1世帯あたり5万円を支給いたします。

また、地域経済を担う中小企業者を支援するため、県と歩調を合わせ、エネルギー価格高騰の大きな影響を受けている、高圧又は特別高圧契約で電力を利用している事業者や工業用LPガスを利用する事業者に対して、その料金の一部を助成するほか、生鮮食品の安定供給に資する中央卸売市場内事業者等に対し、電気料金の一部を助成いたします。

加えて、長期化する物価高騰により業績の回復が遅れている中小企業等の資金繰りを支援するため、市制度融資の借り換え要件を緩和するとともに、その際に必要となる信用保証料に対する助成制度を創設するほか、事業継続のための経営改善計画の策定への支援や、省エネ設備等の導入に向けたセミナーの開催を通じて、業績回復をめざす事業者を後押ししてまいります。

一方、土地改良区や生産組合に対しては、これから本格的なかんがい期を迎えることから、揚水ポンプ等に係る夏期電気料金について、市独自にその一部を助成することといたしました。

また、まちなかの商店街などを利用する方に、土日祝日と年末年始に利用できるバス等の乗車券を配付することで、燃料費の高騰に苦慮する地域交通事業者を支援するとともに、市民の買い物意欲を喚起し、中心市街地の活性化につなげていきます。

次に、少子化対策です。政府は、子どもを産み育てやすい社会の実現をめざす「こども未来戦略方針」を定め、来年度から3年間、集中的に対策を講じることとし、その内容を「骨太の方針2023」に盛り込み、国を挙げて少子化対策に取り組むこととしています。本市としても、新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定に向けて、国の動向を十分注視するとともに、来月にも、大学生をメンバーとするワーキングチームを立ち上げ、未来を担う世代の意見を取り入れながら、より効果的な施策をプランに反映していきます。

また、放課後児童クラブにおける待機児童の解消をめざし、この4月より、木曳野地区と森本地区において、新たな児童クラブが開所したほか、さらなる児童の受け入れに向けて、戸板地区における新たな児童クラブの設置を支援するなど、引き続き、子育てと仕事が両立できる環境づくりに努めてまいります。

一方、ヤングケアラーなどの子どもたちが抱える課題の解決に向けては、学校や保育所、地域包括支援センターなど、子どもの支援に関わる機関の連携の強化や更なる人材の育成が重要となることから、来月10日に、有識者等からなる検討会を開き、年度内を目途に、本市としての指針を取りまとめていきます。併せて、本年4月より開始した家事支援ヘル

パーの派遣や8月に開催する市民向け講演会などの取り組みを通じて、ヤングケアラーに対する直接的な支援や正しい知識と理解を深めるための広報・啓発に努めていきます。

次に、世界に誇る文化都市金沢の実現に向けた取り組みです。「いしかわ百万石文化祭2023」の開催まで、いよいよ120日となりました。先般開かれた実行委員会において事業計画が承認されましたので、県や文化団体等と連携を図りながら、市主催事業等の準備を進めてまいります。まずは、開催100日前となる7月6日にデジタルマップ機能を備えたポータルサイトを開設し、各イベントの具体的な内容を紹介しながら、開催への機運を高めていきます。

また、市内中学生を対象とした文化体験事業につきましては、先月から、中学2年生を対象に金沢素囃子鑑賞会を順次開催しております。加えて、今週の12、13日には、中学1年生約4,000人がフルオーケストラを鑑賞したほか、来月には、中学3年生を対象に観能教室を開催することとしており、生徒の教養の幅を広げるとともに、まちへの愛着を醸成してまいります。

ところで、首都圏における金沢クラフト魅力発信拠点の今後のあり方について、先般、検討会の提言がまとまりましたので、これを受け、現在の「dining gallery 銀座の金沢」は、来年1月末を目途に閉店し、銀座5丁目地内のビル路面店へ移転することとしており、関連経費を今回お諮りしています。新たな店舗ではダイニング機能を廃止し、金沢美術工芸大学や卯辰山工芸工房と連携しながら、金沢クラフトのギャラリー機能を一層強化したいと考えており、今後、本市工芸の魅力やブランド力の更なる向上につながる取り組みについての検討を重ねながら、来年3月中の開設をめざし、準備を進めていきます。

他方、スポーツ文化であります。金沢スタジアムの指定管理について、建物が完成する10月からの業務開始をめざし、質の高いサービスの提供と適切な管理運営が行える事業者を、9月定例会議にお諮りできるよう、選定作業を進めていきます。また、ネーミングライツのパートナー企業について、本日から公募を開始したところであり、新たな施設の開設機運を高めながら、来年2月の供用開始に向けて、準備を加速してまいります。

なお、金沢スタジアムの駐車場にかかる一部用地について、先般、土地収用法に基づく取得の手続きを行うこととなりました。今後、慎重かつ丁寧に手続きを進め、確実な供用開始をめざしてまいります。

また、スポーツ合宿の誘致に関して、来月福岡市で開催される世界水泳選手権に出場する、カナダの飛込チームから、本市での事前合宿の要請がありました。既に予定しているフランスの水泳チームとの合同による競技力向上や金沢プールの発信などの相乗効果も期待できますことから、両チームの受入れ準備を進めるとともに、選手と市民との交流事業を通じて、更なるスポーツ文化の醸成につなげてまいります。加えて、国内の高校・大学等のスポーツ合宿の誘致に向けて、スポーツ庁の新たな補助制度を活用し、地元強豪校と連携しながら、練習試合などを盛り込んだ新たな交流プログラムの造成に取り組んでまいります。

次に、森林環境譲与税を活用した森林整備についてです。来月より、航空レーザーによる森林測量を開始するなど、スマート林業を進めていくとともに、学識経験者等による検討委員会を立ち上げ、将来の市営造林の適切な主伐に向け、先般実施した立木の試験的売払いの結果等も踏まえながら、新たな管理計画を策定してまいります。

また、中央卸売市場の再整備につきましては、基本設計の策定に向けて公募型プロポーザルを行っているところであり、来月下旬には設計者を選定し、約1年をかけて市場関係者と議論を重ねながら、設計の取りまとめを行ってまいります。

一方、市立病院の再整備では、基本構想の策定に向けた委員会を設置し、今月2日に最初の会議を開催いたしました。今後、次期病院に求められる機能や規模などについて、外部識者との議論を深めながら、年度内の取りまとめをめざしてまいります。なお、この4月に、市内で3番目となる地域医療支援病院の承認を得ることができました。市立病院が、かかりつけ医等を積極的に支援しながら地域の中核を担うことで、地域医療の更なる質の向上をめざしてまいります。

ところで、駅西地区への移転を予定している日本銀行金沢支店の跡地については、先般、

有識者等からなる検討懇話会を開催し、都心軸の現状や他都市の利活用事例等を共有するとともに、貴重なご意見をいただいたところであり、引き続き、求められる機能等について検討を進めていきます。

また、かねてから動向を注視していた有松2丁目地内の日本郵便の旧金沢有松社宅跡地についてですが、先月、日本郵便から所有者である国家公務員共済組合連合会への返還手続きが完了したとの連絡を受けました。南部地区にとって大切な場所であるとともに、周辺には、再整備時期を迎える教育や福祉に関する市有施設が点在していることから、当該地の活用を見据え、今後、国家公務員共済組合連合会と土地の取得に向けた協議を進めてまいります。

次に、先月開催された「G7富山・金沢教育大臣会合」についてです。本市における初めての政府主催の国際会議となりましたが、誘致段階から当日の運営に至るまで、国、県はもとより、共催地である富山県、富山市との連携を図りながら無事会議を終えることができました。関係各位に感謝を申し上げますとともに、この成功を本市のレガシーとして引き継ぎ、今後の国際会議等の誘致や世界に向けた金沢の魅力発信に生かしてまいります。

加えて、本市の中学生や金沢大学の学生が各国閣僚と意見を交わした経験は、本人だけではなく、これからの金沢を担う若者の刺激となったものと考えており、今回の富山・金沢教育大臣会合において議論された「ウェルビーイングの実現」に向け、本市の児童生徒にふさわしい新たな金沢型学校教育モデルの検討を進めていきます。

最後に、本市がめざすべき新たな都市像についてです。昨年来、地域の方々を対象とした「金沢の未来を語る会」などのほか、市民参加型ワークショップの開催を通じて、市民や多様な主体からの様々なご意見をいただいています。さらに、先般、各分野の有識者をはじめ、若い世代の代表者や市幹部職員など、立場や世代が異なるメンバーが集まり、テーマ別に積極的な議論を交わしました。来月開催予定の第2回検討委員会では、これまでの取り組み等を踏まえ、都市像の構成案等について議論していきたいと考えており、12月定例会議会への上程をめざし、とりまとめ作業を本格化してまいります。

【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました補正予算案は、先に述べた物価高騰対策に関する経費のほか、国庫補助金の増額決定に伴う公共事業費、森林施設や公園施設における斜面崩壊の本格復旧にかかる経費の追加と、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う医療給付費等の減額が主な内容であり、補正額は、24億6,815万1千円となりました。

経済・農林水産関係では、先に述べた、金沢クラフト首都圏魅力発信拠点の移転にかかる開設費や、昨年12月に発生した正部町地内の森下川斜面崩落にかかる本復旧工事費を追加しています。

市民関係では、マイナポイントの申請期間が9月末まで延長となったことに伴う窓口体制の強化費を計上したほか、福祉健康・こども未来関係では、認定こども園等の施設整備を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症の医療給付費等を減額しています。

都市整備・土木関係では、国庫補助の増額決定を受けて、旧北国街道ふくろう通りの無電柱化にかかる修景工事に着手するとともに、城北市民運動公園の南駐車場の整備を前倒しするほか、先月発生した子来町緑地の斜面崩壊の復旧にかかる経費を計上しています。

予算以外の議案では、先に述べた市立病院の地域医療支援病院の承認に伴う「金沢市病院事業の設置等に関する条例」の一部改正など条例案5件のほか、緑住宅建設工事第5期にかかる請負契約の締結など8件をお諮りするとともに、報告案件として、過日専決処分をした損害賠償の額の決定など6件を報告しております。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。